

小さなヒーローたちの森づくり

タイとインドネシアの
子どもたちとコーディネーターが語る
活動の秘訣



5.19 SUN

場所 CIVI北梅田研修センター 5F HALL
(大阪市北区芝田2-7-18 LUCID SQUARE UMEDA 5F)

時間 15:00~17:00
(開場 14:30)

主催：公益財団法人オイスカ 関西支部

いま世界各地で森が失われ、多くの人々が自然災害に直面しています。オイスカ「子供の森」計画は、将来にわたって森が守られるよう、次世代を担う子どもたちが木を植え、育て、森の大切さを学ぶ環境教育を進めています。

今回、子ども親善大使として、タイとインドネシアの農村地域で活動に参加している小学生と、プログラムを調整しながら指導にあたる現地スタッフが来日。地域で直面する環境課題や、経験を通して得られた気づきや学びなどについての子どもたちのレポート、現地スタッフのトークセッションを行います。

オンライン
同時開催

使用言語：日本語

参加無料

お申し込み方法

専用フォームまたはFAX(裏面参照)から

▶ 締め切り 5/17 (金)



専用フォーム

発表者紹介



アンドラ (11歳) ジョグジャカルタ特別州出身
インドネシアでの活動を伝えながら、日本の子どもたちが環境や科学技術、規律・道徳などについてどう考えているかを学びたいです。日本で学んだことを友だちに伝え、環境について発信するインフルエンサーになりたいです。



ティアス (11歳) ジェパラ県出身
日本やタイの子どもたちと仲よくなりたいですし、日本の環境・文化・規則正しい生活についても学びたいです。ジェパラ県の文化を海外の人たちに紹介することで、家族にも誇りに思ってもらいたいです。



エギ 「子供の森」計画コーディネーター
「子供の森」計画の活動や、その成果について、多くの方に伝えたいです。日本の環境保全への取り組みについても学びを深め、帰国後は活動参加校やほかのコーディネーターへ共有して、さらに活動を盛りあげていきたいです。



テング (11歳) スリン県出身
日本の森と自分の村の森が同じか、違うかどうかを知りたいです。帰国したら日本で学んだことを友だちに伝えて、みんなで一緒に「子供の森」計画で育てた森や環境を大切にしていきたいです。



ワウワー (10歳) スリン県出身
日本人とたくさん話して、日本文化を学びたいです。日本ではどのように木を管理しているのかも勉強したいです。帰国後は、学校の環境がもっとよくなるように、木が大きく生長できるように管理を頑張っていきたいです。



ヤット オイスカタイランド事務局長
日本では多くの皆さんにタイでのオイスカの取り組みを知っていただき、特に企業や支援者の方々とのネットワークを広げ、タイでの活動での協業につなげたいです。

参加方法

【会場参加】



CIVI北梅田
研修センター
5F HALL
大阪市北区芝田2-7-18
LUCID SQUARE
UMEDA 5F
JR「大阪」駅
御堂筋北口から
徒歩5分

【オンライン参加】

オンライン参加の方には、5月18日までにメールで参加URLを送らせていただきます。

お申込み・お問い合わせ

公益財団法人オイスカ 啓発普及部
〒168-0063 東京都杉並区和泉2-17-5
TEL: (03) 3322-5161
E-mail: gsm@oisca.org

「子供の森」計画とは？

公益財団法人オイスカ(国際協力NGO)が取り組む、子どもたち自身が学校や地域で苗木を植え、育てていく活動を通して、「自然を愛する心」や「緑を大切にする気持ち」を養いながら緑化を進めるプログラムです。
1991年にフィリピンの17校から始まり、現在37か国5,500校以上に広がっています。



「子供の森」計画HP

参加申込書

FAXでお申込みの方は、こちらの申込書にご記入の上、ご送信ください

FAX送信先

▶ 03-3324-7111

お名前		所属	
部署名		役職	
ご住所			
メールアドレス		電話番号	
参加方法	<input type="checkbox"/> 会場参加 <input type="checkbox"/> オンライン参加		

※いただきました個人情報は、当法人からの各種案内の送付等に使用させていただきます。予めご了承の上、お申し込みください。利用の詳細はHP (<https://oisca.org/privacy-policy/>) をご確認ください。